

**2015 年度全日本学生ヨット個人選手権大会
2015 年全日本学生シングルハンドレガッタ**

開催地：愛知県蒲郡市 豊田自動織機海陽ヨットハーバー沖

大会期日：平成 27 年 9 月 3 日(木)～ 平成 27 年 9 月 6 日(日)

共同主催：全日本学生ヨット連盟 中部学生ヨット連盟

公認：(公財)日本セーリング連盟(申請中)【H27-14】

後援：蒲郡市、蒲郡市教育委員会、蒲郡市体育協会
愛知県ヨット連盟、日本 470 協会、日本スナイプ協会、日本レーザークラス協会

特別協賛：日建・レンタコムグループ

協賛：蒲郡市観光協会

協力：豊田自動織機海陽ヨットハーバー

レース公示

1. 規 則

1. 本大会は「セーリング競技規則 2013 - 2016」(以下 RRS)に定義された規則を適用する。
但しこれらの規則等のうち、本帆走指示書(以下 指示)によって変更されたものを除く。
2. RRS 付則 P の「セール番号」を「エントリー番号」に置き換え適用する。
3. 最新の 470 クラス学連申し合わせ事項、最新のスナイプクラス学連申し合わせ事項、全日本学生ヨット連盟規約を適用する。
これらは全日本学生ヨット連盟にて入手することができる。

2. 競技種目

2015 年度全日本学生ヨット個人選手権大会 : 国際 470 クラス、国際スナイプクラス
2015 年全日本学生シングルハンドレガッタ : レーザークラス

3. 広 告

国際 470 クラス、国際スナイプクラスは艇体の添付 A に示す位置に、学連申し合わせ事項にもとづき所属大学名のステッカーを貼らなければならない。

4. 日 程

9月3日 (木) 受付 計測 9:30~16:00

9月4日 (金) 受付・計測 8:30~10:00
競技運営説明会 10:00~10:30
開会式 11:00~11:30

1日目の最初のレース 予告信号予定時刻
国際470クラス 13:00
国際スナイプクラス 13:07
レーザークラス 13:12

9月5日 (土) 2日目の最初のレース 予告信号予定時刻
国際470クラス 9:00
国際スナイプクラス 9:07
レーザークラス 9:12

9月6日 (日) 3日目の最初のレース 予告信号予定時刻
国際470クラス 9:00
国際スナイプクラス 9:07
レーザークラス 9:12

9月6日に表彰式及び閉会式を実施する

1. 本大会のレース数は、各クラス最大8レースとし、各クラス3レースをもって成立とする。
2. 1日に実施するレース数はレース委員会の裁量によるものとする。
3. 各日程における各クラスの次のレースはそれぞれ可能となれば、引き続き実施する。
4. 9月4日、9月5日は16:01以降、9月6日は13:01以降に予告信号は発せられない。

5. 資格及びエントリー

1. 国際470クラス、国際スナイプクラスは1チーム選手3名、レーザークラスは1名とするが、ヘルムスマンの変更は認められない。
2. 選手は全日本学生ヨット連盟規約6条を満たしており、各水域の推薦を得ている者。
3. 選手及び監督、コーチは2015年度(公財)日本セーリング連盟会員であること。
4. 国際470級の競技者は、日本470協会の2016年度団体会員登録を完了している大学ヨット部に所属していること。
5. 国際スナイプクラスの選手は2015年度SCIRA登録済みであること。

6. 艇

1. 艇は原則自己所有艇とするが、レース委員会が認めた場合は、参加者がチャーターした艇も可とする。
2. 国際スナイプクラスの艇は 2015 年度 SCIRA 登録済であること。

7. セール

1. 各チームが持参し、1 セットの予備セールを含んだ 2 セットまでとする。また、レーザークラスには主催者が用意したチャーターセールも可とする。
2. 同一のセール番号、同一のエントリー番号を同時に使用してはならない。
3. オリジナルのセール番号に数字・形象等を付加した、各クラス協会に登録されていないセール番号を使用してはならない。
4. 国際 470 クラスのメインセールとスピナーカーのセール番号は同一でなければならない。
5. レース中、セールにレース委員会が準備したエントリー番号を添付 B にて指定された位置に貼り付けなければならない。これは RRS77 及び付則 G を変更している。

8. 計測

1. 参加するチームは、艇体およびセールに関する各水域のオフィシャル・メジャーによる大会事前計測を完了したことを証明する「大会計測完了証明書」を提出するとともに、「大会計測済みスタンプ」の確認を計測受付にて受けなければいけない。
2. 「大会計測完了証明書」発行後は、改造を行ってはいけない。計測後に修理・改造を行った場合は、再計測を受けなければいけない。

9. 参加申込み方法

参加資格のあるチームは『参加申込書』『エントリー表』『エントリー料・エントリー番号料の振込み領収書のコピー』、レーザークラスをチャーターする場合は、『チャーター料の振込み領収書のコピー』を平成 27 年 8 月 5 日(水)17 時までに郵送もしくは、電子メールで必着すること。

郵送先

郵便番号 454-0048

住 所 愛知県名古屋市中川区元中野町 3-80

氏 名 大島 旭

電話番号 090-4110-8710 E-mail: chubu_icyf@yahoo.co.jp

振り込先

三菱東京 UFJ 銀行 松阪支店 店番 532 普通 0090143

口座名義 全日本学生ヨット選手権(ゼンニホンガクセイヨットセンシュケン)

振り込みは、大学名と個人名を両方記入の上振り込して下さい。

例 アイチダイ アイチタロウ

締め切り以降の申し込みに対しては、レイトエントリー扱いとし、8月16日(日)17時までに限り、所定のエントリーフィーに対し50%のペナルティーフィーを支払う事を条件に参加を認める。ただしこの場合、パンフレットへの名前は掲載されないことがある。

10. 参加料

エントリー料	国際 470 クラス、国際スナイプクラス	20,000 円/艇
	レーザークラス	10,000 円/艇
エントリー番号料		1,500 円/艇
レーザークラスチャーター料	(野積み代含む) (予定)	
	(イ) セールを含む一式	11,000 円
	(ロ) セールのみ除く一式	8,000 円
	(ハ) 艇体およびスパー	6,000 円

(注) 1. エントリー料には、大会期間中(9月3日から9月6日)のハーバー使用料(野積み場使用料除く)を含む。ただし、9月3日の出艇に関わる水代等の費用は含まない。この期間以外は、各チームでハーバー使用料を支払うこと。

2. レーザークラスのチャーターの申込は、別紙申込書にて9の郵送先に送付することにより申込みを行うことができる。但し艇数に限りがあるため、先着順とする。

11. 帆走指示書の交付

1. 平成27年8月1日(土)までに各水域学連委員長宛に送付するとともに、愛知県ヨット連盟のホームページへ掲載する。
2. 帆走指示書に対する質問は、8月23日(日)までに参加申し込み郵送先に到着するように、文書で提出の事。

質問に対する回答は、競技運営説明会開始までに公式掲示板に掲示される。

12. 受付

参加チームは大会本部で次の書類等を提出し受付を完了させなければならない。

- ① 選手の(公財)日本セーリング連盟会員証。
- ② 監督・コーチの(公財)日本セーリング連盟会員証又はそのコピー。
- ③ 国際470クラスは計測登録証明書及びINTERNATIONAL 470CLASS Measurement Form
ただし、2011年7月29日以前に登録された艇は、上記に加え計測登録証明書(原本)も提示しなければならない。
- ④ 国際スナイプクラスの選手のSCIRA登録会員証。
- ⑤ 国際スナイプクラス計測証明書。
- ⑥ 支援艇・応援艇登録書

13. 得点

1. 艇のシリーズ得点は、完了したレースが5レース以下の場合、全レースの合計得点とし、6レース以上完了した場合、最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。
2. 最優秀選手の選出において、国際470クラス、国際スナイプクラスで成立したレース数が異なる場合、艇の得点の平均値(小数点以下2位を四捨五入)を求め、少ない方を上位とする。

これでもタイとなった場合は、成立したレース数が多いクラスの選手を上位とする。成立したレース数が同じで得点がタイとなった場合は、RRS A8を適用する。

14. コース

1. 添付 C の見取り図はレグ間の通過するマークの順序及びそれぞれのマークを通過する側を含むコースを示す。

15. 安全規定

各クラスは下記安全装備を搭載し、何時でも使用できるようにしておかなければならない。

1. 国際スナイプクラス：直径 8mm 以上、長さ 15m 以上のパウライン
2. レーザークラス：直径 6mm 以上、長さ 5m 以上のパウライン

16. 賞

賞は次のように与えられる。

国際 470 クラス、国際スナイプクラス	賞状 1 位～6 位
	賞品 1 位～3 位
レーザークラス	賞状 1 位～3 位
	賞品 1 位～3 位

国際 470 クラス、国際スナイプクラスの 1 位の選手には小澤杯を授与する。

国際 470 クラス、国際スナイプクラスの中で最少得点の選手には最優秀選手賞
関山旗を授与する。

17. 支援艇・応援艇

1. 海陽ヨットハーバーから出艇する支援艇・応援艇を持込む場合、その艇は毎日上架出来る仕様であること。但しインフレーターボートを除き、海陽ヨットハーバーにて、常時保管されている艇については、この限りでない。
2. 海陽ヨットハーバーに一時的でも入港する支援艇・応援艇は、海陽ヨットハーバーの所定の手続きを行い、使用料を支払うこと。

18. 責任の否認

1. 競技者は、自分自身の責任において本大会参加している。
(RRS4「レースをすることの決定」を参照)
2. 主催団体は、本大会前、本大会中、本大会後に関連して受けた物的損傷または個人の負傷、もしくは死亡に対するいかなる責任を否認する。

19. 大会期間中の選手の肖像権

本大会期間中の、艇、選手に関連する写真、ビデオ等の全ての著作物、映像に関する権利は主催団体に帰属する。また、これら写真は、ホームページ等へ掲載されることがある。

20. ドーピング検査

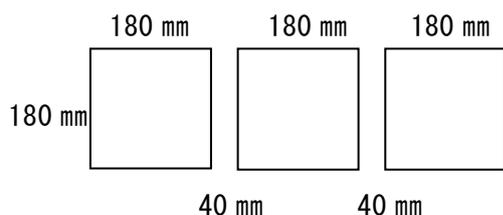
1. 本大会は、日本ドーピング防止規程に基づくドーピング検査対象大会である。
本大会参加者は、参加申し込みした時点で日本ドーピング防止規程にしたがい、ドーピング検査を受けることに同意したものとみなす。
2. 未成年者の本大会参加者への参加申し込みにおいては、上記のドーピング検査の実施について親権者から同意を得たものとみなす。
3. 本大会参加者は、大会期間中に行われるドーピング検査を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかつた場合等は、ドーピング防止規則違反となる可能性がある。ドーピング防止規則違反と判断された場合には、日本ドーピング防止規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
4. 日本ドーピング防止規程の詳細内容およびドーピング検査については、
(公財)日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)にて、確認すること。

21. 問い合わせ先

中部学生ヨット連盟 委員長 氏名：小嶋 光稀

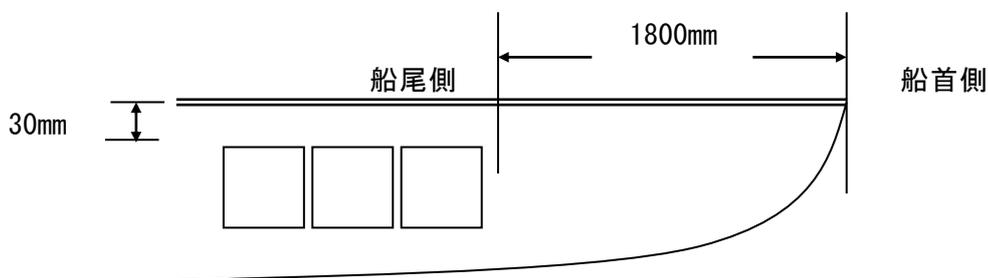
TEL : 090-3851-1291 E-mail : chubu_icyf@yahoo.co.jp

添付A：艇体へのステッカー貼り付け位置



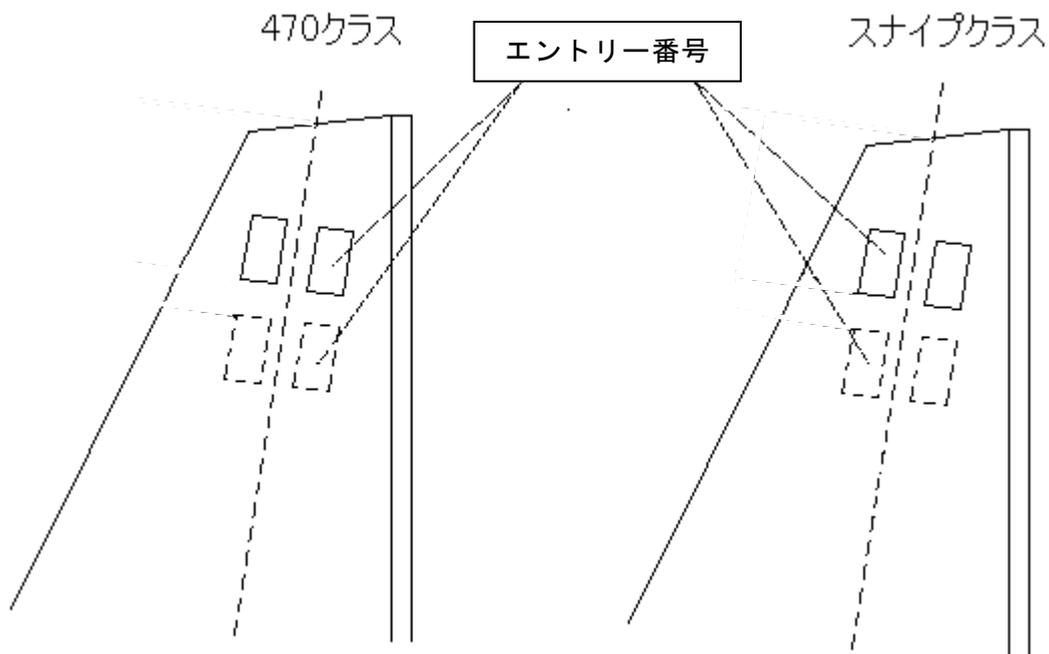
字体：ゴシック
 色：黒
 太さ：25 mm

- ・大学名シールは、各大学（または水域）で作成する。
- ・貼付位置は前部デッキのステムから後方 1800 mm より後ろ近い部分の両側板部分とする。ただし、文字の大きさは 180mm 以上であれば任意とし、それに伴った字間、太さの変動は認める。また、艇体が濃色で黒色では見えにくい場合に限り、白色で表示することも可とする。



* 取り付け位置の若干の誤差は無視する。

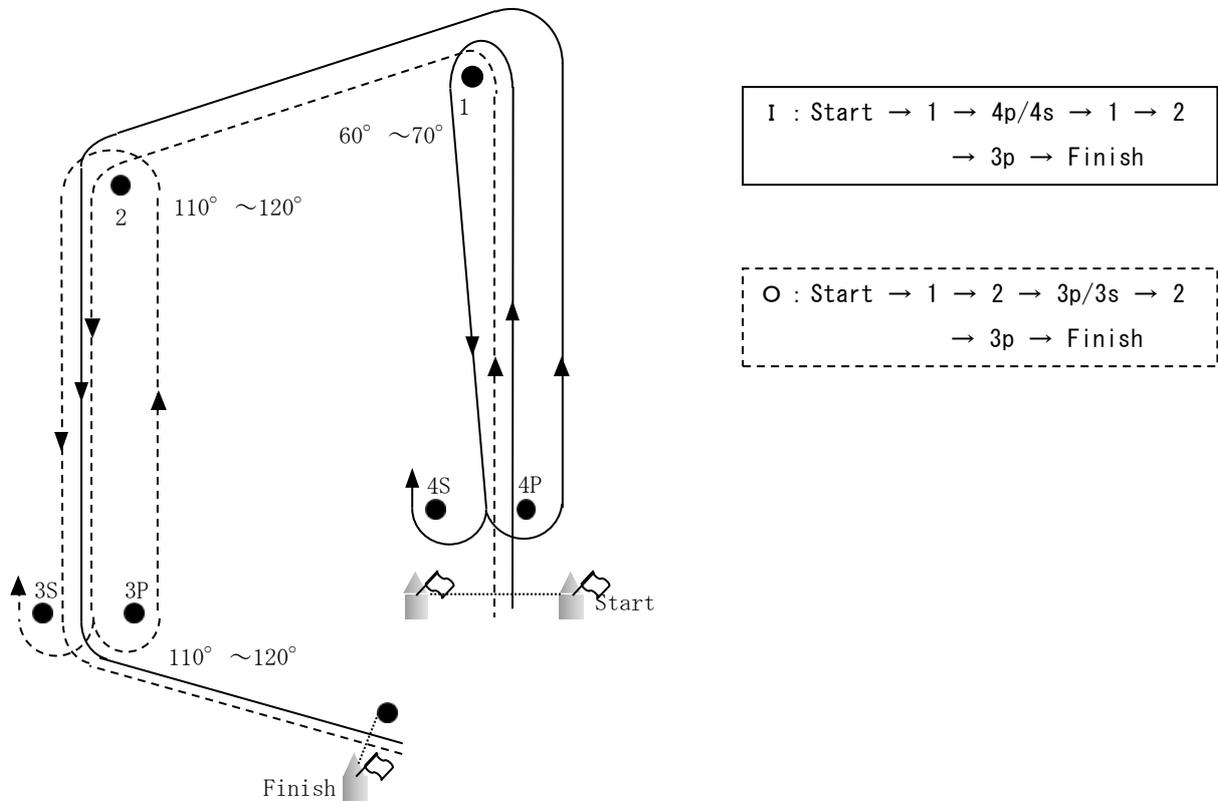
添付B：セールへのエントリー番号貼り付け位置



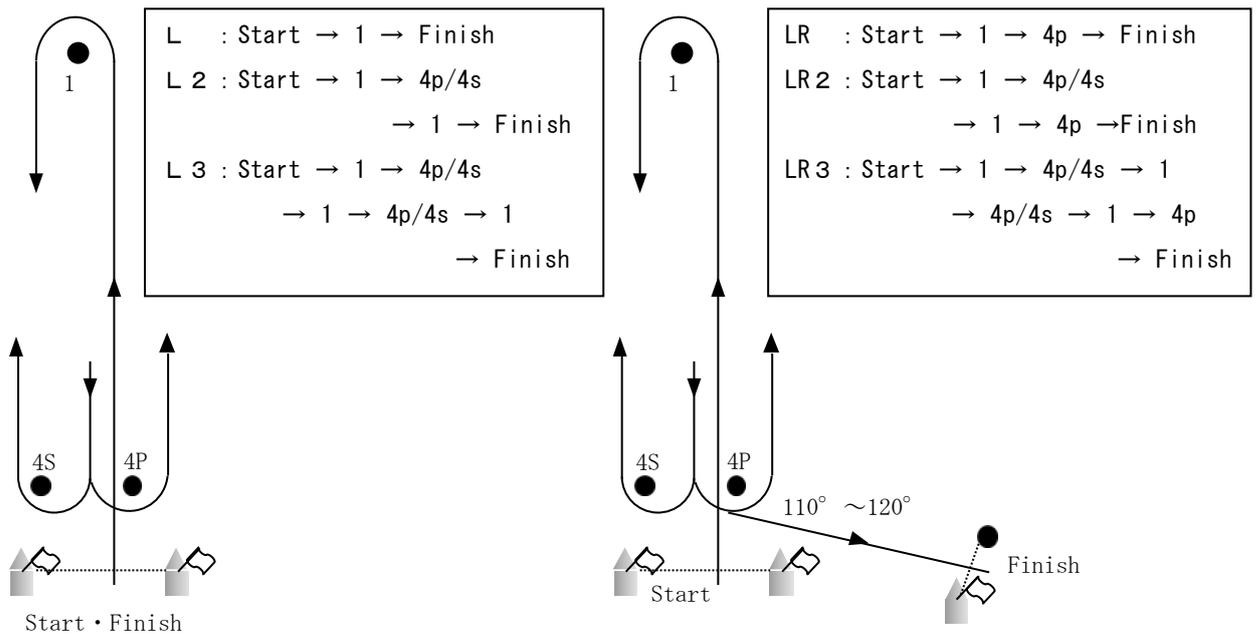
エントリー番号は、セールのトップパネル上部の左右の中心付近に取り付けること。
 スタボートとポートのナンバー、クラスマークがそれぞれ重ならないようにすること。
 エントリー番号はスターボード側が上にくるようにすること。

添付 C : コース見取り図

国際 470 クラス、国際スナイプクラス



レーザークラス



以上